

コミュニケーション学部報 (2018年度)

1. 専任教員

教授

池 宮 正 才
大 岩 直 人
駒 橋 恵 子
佐々木 裕 一
柴 内 康 文 (学部長)
中 村 嗣 郎
西 垣 通
長谷川 倫 子
南 隆 太
本 橋 哲 也
山 田 晴 通
山 下 玲 子

准教授

阿 部 弘 樹
遠 藤 愛
大 榎 淳
北 村 智
北 山 聡
小 山 健 太
松 永 智 子
光 岡 寿 郎 (教務主任)
ピーター・ロス

専任講師

小 林 誠

2. 客員教授

安 斎 利 洋
芳 賀 啓

3. 特任講師

林 剛 大
吉 田 達

4. 特命講師

新 井 一 央

5. 非常勤講師

井 上 俊 也
エバノフ恵智子
大 谷 安 宏
金 杉 朋 子
河 井 大 介
草 野 清 子
久保田 淳
近 藤 和 都
坂 下 裕 明
桜 井 哲 夫
鈴 木 麻 利 子
曾 根 和 子
高 野 敦 伸
濱 野 智 史
原 島 大 輔
藤 井 達 也
堀 正
ジョン・マクグラス
水 野 裕 子
森 津 太 子
横 山 智 哉

6. 学生が選ぶベストティーチャー賞表彰

・受賞者

大岩直人

【参考】東京経済大学コミュニケーション学

部「学生が選ぶベストティーチャー賞」実施要
項

2015 年 4 月 1 日 制定

1. 目的

東京経済大学コミュニケーション学部は、以下の目的をはたすため、「東京経済大学コミュニケーション学部ベストティーチャー賞」を設ける。

(1) 教育実践において学生から高い評価を得た学部教員を「ベストティーチャー」として表彰する。

(2) 「ベストティーチャー」の高く評価された点や授業ノウハウを教員間で共有し、教育水準の向上を図る。

2. 賞の英文名称

本賞の英文名称は、Best teacher awarded by students とし、「BETAS」を通称とする。

3. 賞の授与

本賞は、学生アンケートの回答をもとに、以下の点について評価の高い教員を年に 1 回選出、表彰するものである。

(1) 授業において、卓越した指導力で教育効果の高い授業を実践した者。

(2) 教育方法の工夫又は改善に取り組み、顕著な教育成果をあげた者。

(3) その他、ベストティーチャー賞にふさわしいと認められる者。

受賞対象者はコミュニケーション学部教員(コミュニケーション学部生が履修する授業担当者)とし、非常勤教員を含む。

受賞者は原則、1 名とする。

4. 選考手続き

(1) 学生アンケートの実施は、ベストティーチャー選考委員会が行う。

(2) 実施手続きは上記選考委員会が別途定める。

(3) アンケート結果をもとに上記選考委員会を受賞者を決定する。

5. 選考委員会の構成

(1) 教務主任

(2) 学部専任教員(若干名)

(3) その他、学部長が指名する者

委員長は委員の互選とする。

任期は 1 年とする。

6. 表彰

受賞者には表彰状を授与する。

7. 選考結果

大学のウェブサイトを受賞教員名、授賞理由を公表する。

7. 卒業制作・卒業論文表彰

・最優秀賞(1 点)

里村佳奏「なんのための歌舞伎雑誌一戦時期・占領期における『演劇界』(1943-)の分析から一」〈論文〉

・優秀賞(11 点)

赤羽亮平・堀内響「職業 YOU TUBER 一動画投稿者」〈制作〉

市川勝栄「アニメ化する『少年ジャンプ』漫画作品の特徴」〈論文〉

鳥山茉莉「JavaScript で作るゲームプログラミング」〈論文〉

小久保京香「『たらずば』(ZINE)」〈制作〉

数馬明奈「卒業制作(旅行記):『れもねえどの創り方』」〈制作〉

チャン ハ ミエン「日本におけるシェアリングエコノミーの可能性」〈論文〉

蓮見明彦「インターネットラジオについて考える」〈論文〉

鏡潤樹「インターンシップの期間によるキャリア意識の差」〈論文〉

荒川遥香「パッケージデザインによる購買行動への影響に関する一考察」〈論文〉

滝沢小百合「アンバサダーマーケティングにおけるインセンティブとしてのクーポンの有用性」〈論文〉

松本千裕「不登校経験の開示と秘匿」〈論文〉